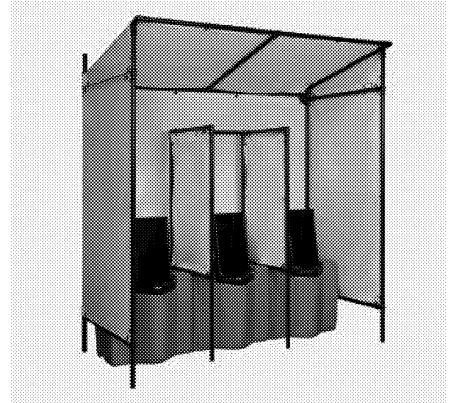


# わが社一押し

大勢が集まる野外フェスティバルやマラソン大会など華やかなイベントの陰で欠かせないのがトイレ。屋外用の仮設・常設トイレを製造・販売するハマネツ（浜松市）は安価で簡便な男性用仮設トイレ「EVRES（エバレス）」で需要を取り込んでいる。従来の仮設トイレは扉付きの個室タイプ。主に工事現場用などのレンタル業者が顧客だが、調査によって「イベント向けが伸びていることに気付いた」（商品企画部の波多野賢氏）のを機に、イベントに特化した商品の着想を得た。

## イベント向け仮設トイレ

### ハマネツ



3人が同時に使える

「汚い・くさい」イメージ払拭

「仮設トイレの悪いイメージを払拭したい」（波多野氏）との思いで薬品メーカーと共同開発し、2016年に発売した仮設トイレ用薬剤「ニオイもムシも出ないトイレ」の拡販にも力を入れている。細菌中の物質の働きを抑えることで、臭いの元になるアンモニア



の発生を抑制。害虫の卵が幼虫になるのを防ぐ効果もある。

便槽と給水タンクに投入するだけの手軽さが特長だ。顆粒（かりゅう）状のため、一般的な液体タイプに比べ持ち運びが便利。5年間の長期保存も可能だ。主要顧客のレンタル業者のほか、「災害備蓄用に自治体からの注文も増えている」（鈴木氏）という。便槽と給水タンクに投入するだけの手軽さが特長

## 設置・くみ取り負担軽く

海外には同様のコンセプトの商品もあったが、他人と目線が合いやすいなど「日本人の文化や体格に合わないものが多かった」。そこで、日本人が使い慣れている横並びで用を足すト

イレの開発を2017年初から始めた。試作品を作っては顧客に

使ってもらい、隣との距離感や運搬・設置のしやすさなどを追求。約1年かけて仕様を決めた。

エバレスの参考価格は29万円。3人が同時に使えるため、従来の個室タイプ（同27万円）に比べ費用対効果が高い。「余った予算やスペースを女性向けに回せるため、トイレ環境を充実さ

せる「3人分ですべての負担を減らせる。タンク以外は折り畳めるため、4ストラックでは一般的な仮設トイレの約7倍の量を運べ、「レンタル業者の運送コストを抑えられる」（伊神賢人）

せられる「波多野氏」。

排せつ物を上々」（営業企画部の鈴木健介氏）。初年度は6000万円、2年目は9000万円、3年目は1億2000万円を目指す。まずイベントが多いゴールデンウィーク。そして20年の東京五輪の需要をかみたい」（同）

（伊神賢人）